
4037. 保税運送申告呼出し

業務コード	業務名
OLC11	保税運送申告呼出し

1. 業務概要

(1) 保税運送申告情報呼出し

「保税運送申告（OLC）」業務または「保税運送申告（事項登録あり）（OLC20）」業務によりシステムに登録した搬入時申告、搬入時個別運送情報、搬入時特定保税運送または開庁時申告の内容を申告前に変更するためにその情報を呼び出す。

(2) 貨物情報呼出し

OLC業務に先立ち、システムに登録されている貨物情報のうち、OLC業務に利用しうる情報を呼び出す。

2. 入力者

通関業、機用品業、保税蔵置場、船会社、船舶代理店、CY、NVOCC、海貨業

3. 制限事項

1業務で呼出し可能な貨物管理番号*1は最大5件とする。

(*1) 貨物管理番号とは、B/L番号（CT-B/L番号を含む。）または輸出管理番号のことをいう。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②保税運送申告情報呼出しの場合は、保税運送申告DBに登録されている当該申告情報の入力者と同一であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 保税運送申告DBチェック

保税運送申告番号（個別運送管理番号または特定保税運送番号）の入力がある場合は、入力された保税運送申告番号（個別運送管理番号または特定保税運送番号）に対して、以下のチェックを行う。

①入力された保税運送申告番号（個別運送管理番号または特定保税運送番号）に対する保税運送申告DBが存在すること。

②保税運送申告、個別運送情報登録または特定保税運送登録で自動起動の旨が登録されていること。

③保税運送申告、個別運送情報登録または特定保税運送登録がされていないこと。

(4) 貨物情報DBチェック

貨物管理番号の入力がある場合は、入力された貨物管理番号に対して、以下のチェックを行う。

(A) 貨物情報DBが存在すること。

(B) 輸出貨物でないこと。

(C) 以下の税関手続がされていないこと。

(a) 輸入申告等の輸入通関手続（予備申告、検査扱いの輸入申告及び蔵入承認済を除く）

(b) 積戻し申告（通関蔵置場への搬入前に行われた積戻し申告（搬入前申告）で搬入後処理未済の場合を除く）

(c) 本船・ふ中扱い承認申請

- (d) 「許可・承認等情報登録（監視）（PAK03）」業務による以下の登録
 - ① 「別送品輸入許可」
 - ② 「外国貨物船（機）用品積込承認」
- (e) 「許可・承認等情報登録（保税）（PSH）」業務による以下の登録
 - ① 「亡失届受理」
 - ② 「減却承認」
 - ③ 「現場収容」
 - ④ 「税関内収容」
 - ⑤ 「その他の搬出承認」
- (f) 「許可・承認等情報登録（輸入通関）（PAI）」業務による以下の登録
 - ① 「輸入許可」
 - ② 「移入承認」
 - ③ 「総保入承認」
 - ④ 「展示等承認」
 - ⑤ 「輸入許可前引取承認」
 - ⑥ 「輸入申告等手作業移行」
 - ⑦ 「別送品輸入許可」
- (g) 許可・承認等情報登録（輸出通関）（PAE）」業務による以下の登録
 - ① 「積戻し許可」
 - ② 「輸出申告等手作業移行」
- (D) 「貨物取扱登録（改装・仕分け）（SHS）」業務または「貨物情報仕分け（CHJ）」業務により仕分親となっていないこと。
- (E) 「貨物取扱登録（仕合せ）（CHU）」業務により仕合親となっていないこと。
- (F) 混載仕分けされた親でないこと。
- (G) 当該保税運送申告において複数の貨物管理番号が入力された場合は、輸入貨物と仮陸揚貨物が混在していないこと。
- (H) 当該保税運送申告において複数の貨物管理番号が入力された場合は、未通関積戻し貨物と仮陸揚貨物が混在していないこと。
- (I) 貨物手作業移行登録がされていないこと。
- (J) 訂正保留中でないこと。
- (K) 貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。
- (L) 当該保税運送申告において複数の貨物管理番号が入力された場合は、蔵入承認済貨物と蔵入承認済貨物以外が混在していないこと。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 保税運送申告呼出情報(保税運送申告情報)編集出力処理

保税運送申告DBより保税運送申告呼出情報(保税運送申告情報)の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(3) 保税運送申告呼出情報(貨物情報)編集出力処理

貨物情報DBより保税運送申告呼出情報(貨物情報)の編集及び出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(4) 注意喚起メッセージ出力処理

呼出情報を元に申告内容をシステムに反映する場合は、再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
保税運送申告呼出情報 (保税運送申告情報)	保税運送申告番号(個別運送管理番号または特定保税運送番号)の入力がある場合	入力者
保税運送申告呼出情報 (貨物情報)	貨物管理番号の入力がある場合	入力者

7. 特記事項

保税運送申告に係る業務の主な流れは以下の通りである。

	実施内容	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
場合 OLA業務で保税運送申告書を払い出した	通常申告	OLA 事項登録	OLC20 申告	-	-	-
	呼出しあり通常申告	OLA11 呼出し	OLA 事項登録	OLC20 申告	-	-
	搬入時・開庁時申告の自動起動前の訂正(事項登録)	OLA 事項登録	OLC20 搬入時・開庁時申告	OLA11 呼出し	OLA 事項登録	OLC20 申告
	搬入時・開庁時申告の自動起動前の訂正(通常申告)	OLA 事項登録	OLC20 搬入時・開庁時申告	OLC11 呼出し	OLC 申告	-
	搬入時・開庁時申告の自動起動前の取消し	OLA 事項登録	OLC20 搬入時・開庁時申告	OLC11 呼出し	OLC 取消し	-

場合 OLC業務で保税運送申告番号を払い出した	通常申告	OLC 申告	-		-	-
	呼出しあり通常 申告	OLC11 呼出し	OLC 申告	-	-	-
	搬入時・開庁時 申告の自動起動 前の訂正（事項 登録）	OLC 搬入時・開 庁時申告	OLA11 呼出し	OLA 事項登録	OLC20 申告	-
	搬入時・開庁時 申告の自動起動 前の訂正 （通常申告）	OLC 搬入時・開 庁時申告	OLC11 呼出し	OLC 申告	-	-
	搬入時・開庁時 申告の自動起動 前の取消し	OLC 搬入時・開 庁時申告	OLC11 呼出し	OLC 取消し	-	-